

総 評

算数と総合がやや難しく、国語が易しめで、全体としては標準的な難易度の出題でした。

入試本番まで残りわずかとなりましたが、ここからはあまり手を広げず、実戦的な問題を解きながら、重要事項の定着をはかりましょう。今回のようなテストにしる、問題集にしる、できなかったところや、知識があやふやなところは、そのままにせず、見直しや解き直しを行うことが大切です。ミスや間違いはチャンスと考え、実力をのばすきっかけにしてください。

第1回の試験でも書きましたが、入試では「満点をねらう」のではなく、「解ける問題を確実に得点する」ことがポイントです。志望校の出題傾向やレベルをつかみ、弱点の補強や重要事項の確認などの準備をしっかり行って下さい。

国 語

易しい出題でした。

㊦は、全体によくできていました。問三(2)の①は、空欄の直前や直後との接続が適切でも、文全体を読んだときに接続が適切ではない答えが散見されました。空欄に合う言葉を答える問題のときは、自分が書いた答えを空欄に当てはめて、全体を読んでみるとよいですよ。㊧は、問一の漢字の書きと問二の誤字訂正、問四の慣用句が難しかったようです。漢字を覚えるときは、よく使われる熟語といっしょに覚えるとよいでしょう。㊨は、全体に難しかったようです。特に問二(1)、問四、問六の得点率が低くなりました。樹木の葉っぱのしくみや実験結果からわかることを一つ一つ整理しながら、もう一度読んでみましょう。記述や書き抜きの誤字脱字にも気を付けましょう。

算 数

㊲に予想外に得点率の低い問いがあり、平均点が伸びませんでした。

㊱の計算でまちがえた人は必ずふくしゅうし、同じまちがいをふせぎましょう。㊲の(1)、わられる数からあまりをひくと、わる数×商になります。よく出題されるので覚えましょう。㊳の図形はよくできています。(3)は○と●の大きさの和を考えることがポイントでした。㊴の(2)のように、わからない量が2つある場合は、仮に全部がどちらか一方だったと考えると糸口が見える場合があります。㊵の(1)は、わかっている数量(残りの50個)が全体の何倍にあたるかを考えましょう。

入試に向けて大切なのは、問題の見方や考え方です。間違えた問題を復習するときには、じっくり読んで「考え方」を理解するように心がけましょう。

社 会

やや易～標準的な出題でした。

㊶と㊷は地理分野の出題でした。基本的な問題はよくできていましたが、㊶の(5)、(7)のような位置に関する問題の得点率が低くなりました。地理では位置を覚えることが重要ですので、地図帳を利用して確認しましょう。㊸の歴史分野は全体的によくできていました。㊹は公民分野の出題でした。(3)の「国事行為」や(7)の「行政権」といった語句を正しく覚えていない解答が多く見られました。㊺は歴史分野の出題でした。全体的によくできていましたが、(7)の日露戦争で得た地域を略地図から選ぶ問題の得点率は低くなりました。歴史では、そのできごとが起こった場所を略地図から選ばせる問題も出題されるので、できごとと場所は合わせて確認しておきましょう。

理 科

やや易～標準的な出題でした。

㊻と㊼は、どちらも(4)がやや難しかったようでしたが、他は全体にできていたようです。基本的な内容の出題が多くありましたので、間違えたところはしっかりと復習しておきましょう。㊽はどれも非常によくできていました。やや応用力を必要とするものもありましたが、十分に対応できていたようです。㊾は、(2)がとても難しかったようです。「てこ」は中学入試でよく出題されますので、これからでもしっかりと準備をしておきましょう。㊿は、(5)がやや難しかったようでしたが、他はできていますので、会話や表の内容を正確に読み取ることができた人が多かったようです。㊽は、見慣れない問題もありましたが、得点率が極端に低くなりませんでした。

総合(適性)

前半の大問に時間がかかったためか、㊽の得点率が伸びませんでした。最初に全体の分量を見きわめ、時間配分を考えながら取り組むようにしましょう。

㊽(3)は、札幌開成中でもよく出題される形式の文章記述問題です。指定されたすべての条件を満たし、だれにでも伝わるように表現する力を身につけましょう。

㊽と㊾は、手順の読み取りが難しかったようです。このような問題は素材文をしっかりと読むことが大切です。ポイントとなる内容を見逃さないようにしましょう。

㊿は、資料の読み取りを中心とした出題でした。(2)は資料のつながりを理解し、考えを導くことが必要でした。複数の資料の関係を読み解く力を身につけましょう。

文章記述問題では、文章を書いたあとに必ず読み直し、誤字や文法的な誤りがないかどうか点検しましょう。